

議会だより

No.77

2013年2月1日 発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

まさき町



12月定例会

2P 平成23年度決算認定 予算をどう使ったか？

4P 委員会ニュース **H24年度一般会計補正予算 3億7700万円増に**

6P 賛否表・請願・条例ほか

8P

一般	
	質問

- ・ 自然エネルギー利用は
- ・ 農業対策の拡充を
- ・ 増える空き地、空き家の問題解決は
- ・ ごみ袋収入で建設基金設立を

14P 公共施設紹介「こんなところですよ こんなこともしています」

一般会計

平成23年度 決算認定 97億円の使い道は!?



耐震工事で防災力アップ(岡田中校舎)

決算特別委員会を

11月5日から11月27日までの期間中の5日間開催した。

平成23年度一般会計ほか各特別会計の歳入歳出について審査を行い両決算の認定について採決を行った結果、全員一致をもって認定と決した。

◎決算認定とは

議会が町長から提出された歳入歳出決算書に基づき、適正な予算執行がなされているかその結果を確認し、適法に行われたかどうかを審査するものです。

平成23年度特徴的事業は?

■総務費

- *伊予鉄道古泉駅駐輪場整備事業
- *防災ハンドブック作成事業

■民生費

- *地域支え合い体制づくり事業
- *保育所等の施設建設など補助事業

■衛生費

- *子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業
- *まさきちょう環境家計簿作成業務

■農林水産業費

- *土地改良事業

■土木費

- *松前町老朽建物除却事業

■教育費

- *学校施設耐震事業
- *安心子育てコミュニティ広場推進事業(幼稚園園庭芝生化)

決算規模

*一般会計以外は歳出額
()内は平成22年度額

■一般会計

歳入決算額:101億3,758万円(98億1,272万円)
歳出決算額:96億6,838万円(94億1,334万円)
歳入歳出差引額:4億6,920万円(3億9,937万円)
翌年度繰越財源:5,973万円(9,388万円)
実質収支額:4億947万円(3億548万円)

■国民健康保険特別会計

33億3,109万円(31億384万円)

■介護保険特別会計

23億4,614万円(22億9,747万円)

■後期高齢者医療保険特別会計

3億3,685万円(3億2,314万円)

■公共下水道事業特別会計

5億8,391万円(6億1,065万円)

■水道事業会計

収益的収入:3億5,587万円(3億8,074万円)
収益的支出:3億1,348万円(3億629万円)

主な決算審査内容

問 入札時に、設計額と落札金額の差が大きい場合が見受けられるが、契約内容は適正か。

答 最低制限価格がないものは、入札によって落札率がかかなり低い事例がある。

業者の技術力によるものと推察できる。

落札率の低い入札でも成果品には問題なく、完了検査で不合格となつたケースはない。設計・積算は、愛媛県土木積算基準や下水道用設計標準歩掛表で設計・積算を行い、それ以外でも、見積書を徴集して設計金額を適正に算出している。

問 各種の滞納金（私債権）は、あまり改善が見られない。不良債権として整理を再考すべきではないか。法的に放棄などをすべきではないのか。

答 奨学金については、法的措置を検討する通

知をし、連絡があれば納付相談を行い、なければ、法令に基づき徴収停止措置の手続きを講ずる。

各種貸付金などは、徴収に努め、法令、条例などにより徴収免除が可能であれば、それを適用し滞納整理を行なっていく。

安易に債権放棄をするなど他への影響もあるので、滞納者には可能な限り返還してもらう。

問 保育士は、必要数確保されているか。途中での休職や退職で、他の保育士に負担をかけるのではないか。

答 臨時保育士においては結婚、出産などにより退職者が多く、1年間を通して保育士を確保するのは厳しい状況である。現在、毎年、正規保育士の採用を2〜3名行なっている。最低限必要なものは正規保育士で行なうようにし、退職者が出た場合は、早急に募集を行

い、保育に支障がないように努力する。

問 各種健診事業で多額の不用額があるが、受診率増加に向けて今後の取り組みは。

答 総合健診の予算執行率は86%であり、予算が大きいため不用額が多額となつている。新規事業の肺炎と大腸がんは国の目標とする受診率50%で予算を計上したが、実際は20%に満たない受診のため不用額が生じた。

現在、総合健診は案内チラシの全戸配布や町のホームページへの掲載などを行い、周知を図っている。また、土・日曜日に受診日を設定したり、地区集会所などの巡回健診など、受診しやすい環境づくりにも努めている。

がん検診では、無料クーポン券の送付や、検診の必要性を記載したチラシも同封し、未受診者には再度の受診勧奨ハガキを送付して

いる。

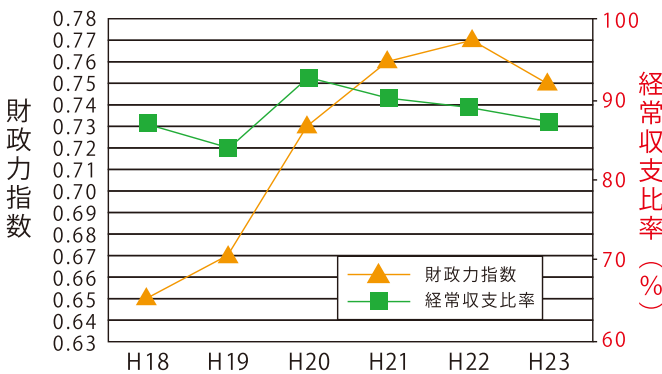
問 公共下水道事業の整備が進む中で、下水道接続戸数が少ない。今後の未接続戸数を減らす取り組みは。

答 未接続の理由は、工事費用金額の問題や、その他に、高齢者世帯であること、家屋が老朽化していること、浄化槽を使用しているこ

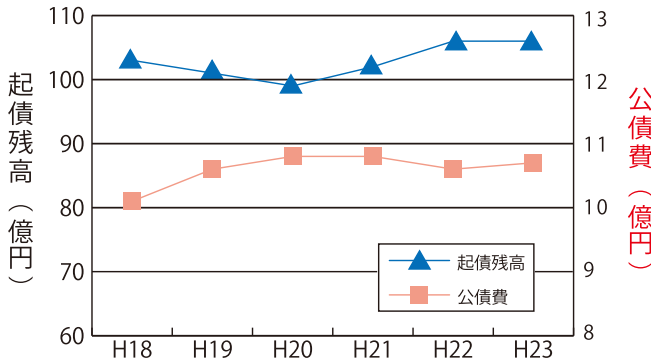
と、また転居により空き家であることなどがある。

経済的に接続が難しい方には、接続工事費の借入金に対し利子補給が受けられる「排水設備工事融資あっせん制度」を活用して工事を実施してもらうよう広報などで働きかけている。

財政力指数・経常収支比率の推移



起債残高・公債費の推移



決算特別委員

委員長 加藤 博徳
 副委員長 村井慶太郎
 委員 藤岡 緑
 委員 八束 正
 委員 寺下 武
 委員 稲田 輝宏
 委員 稲田 孔

委員会
ニュース

平成24年度
一般・特別会計補正予算

総務

●主たる事業

△防災事業

●審査内容の主なもの

問 訓練用ベストはどのような物で、また、厚着をしている冬場でも着られるのか。

答 担当者の役割を表示するために色分けをしたベストで、フリースアイズとなっているので冬場でも着れる。

問 「水土のう」は再利用が可能なのか。

答 再利用はできない。

文教

●主たる事業

△松前小学校体育館耐震補強事業

△北伊予中学校体育館耐震補強事業

△古城幼稚園園舎耐震補強事業

△給食センター調理設備整備事業

△給食センター調理設備整備事業

●審査内容の主なもの

問 無線機の通信エリアと基地局の場所は。

答 無線機の通信エリアと基地局の場所は、町内は充分カバーできている。

問 給食センターの修繕費の計上の理由は。

答 給食センターは業務開始後10年が経過し、調理器具の故障が頻繁に起こるようになったため本年度点検を行った。

その結果、早急に修繕の必要があると判断した器具を修繕するための予算を計上した。安全で、安心な給食を調理し提供する。

問 幼稚園の賃金が追加計上している理由は。

答 新たに入園した園児の中に、一人では生活が困難な幼児が居るため、追加で支援員を配置するための賃金を計上した。



安心・安全の給食のために



園児たちの安全確保が第一

厚生

●主たる事業

△予防接種事業

△重度心身障がい者福祉事業

●審査内容の主なもの

問 民生費関係の訓練等
給付事業の補正内容は。

答 主に障がい者の就労
支援関係で、各種事業
に不足が見込まれる。

問 重度心身障がい者の
医療費の内容は。

答 件数は前年とほぼ同
じで大差はないが、医
療費の額が、今年度前
半で、1件あたり平均

約200円増加となっ
ている。例年、後半も
増加するので、全体と
して約2万件、1件あ
たり平均約300円程
度の増を見込んでい
る。

問 不活化ポリオワクチ
ンの接種実績と接種後
の問題点は。

答 9月以降の不活化ポ
リオワクチンは555
件、11月以降の四種混
合ワクチンでは、26件
の接種を行った。
接種後の事故や保護
者からの問い合わせは

なく特に問題はなかつ
た。

問 出産育児一時金の支
給状況は。

答 当初24件の支給を見
込んでいたが、出産件
数の増加に伴い33件に
見直した。

産業建設

●主たる事業

△地場産業推進事業

△町道等維持事業

△町道整備事業

△北黒田海岸整備事業

●審査内容の主なもの

問 商工費の地場産業

推進事業で行う名古屋
屋での「愛媛・松前
町うまいものフェア」
にかかる職員派遣と
今後の継続性は。

答 このフェアは、松
前町でも初めての催
しだ。これを契機に
来年度も県が計画す
る大阪での愛媛県市
町連携フェアにも積
極的に参加する予定。
今後も継続的に松
前町を全国配信して
いきたい。

問 港湾関連費の北黒
田海岸整備に伴う造
成費は4区画を造成
するものであるが、
全体計画としてはど
うなっているのか。

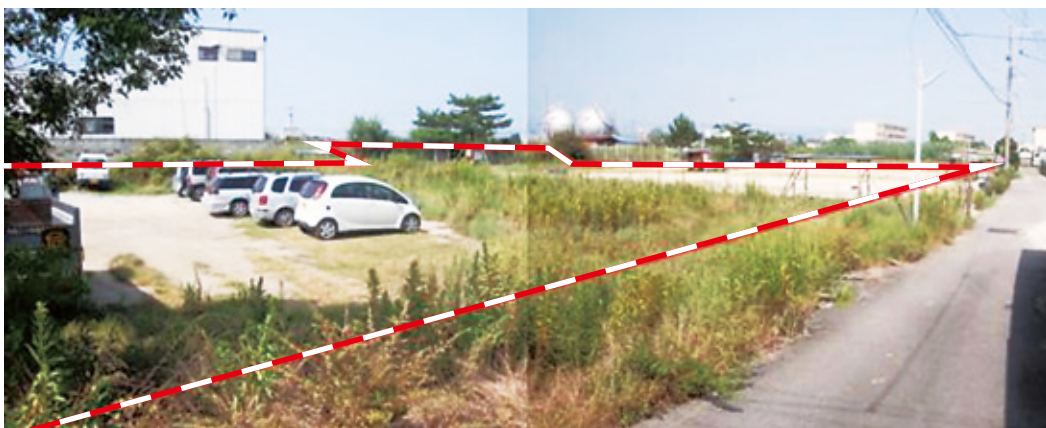
答 水産加工業者が6
社あるが、現在、移
転を表明しているの
は1社だけで、第1
期工事として4区画
を造成することにし
ている。



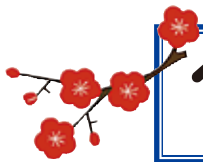
★ポリオの 予防接種

生ワクチンから不
活化ワクチンに変更
された。

「生ワクチン」は、
まれにポリオ感染と
同じ症状が出ること
があった。「不活化ワ
クチン」は、ウイル
スを殺し、免疫を作
るのに必要な成分を
取出し病原性をなく
したもので、ポリオ
感染と同じ症状が出
ることはないが、ま
れに発熱などが生じ
ることがある。



囲み破線内が造成予定地



12月定例議会

提出議案及び請願への 各議員 賛否表

※ △議長 ○賛成 ●反対 「欠」欠席

議案・請願など	議員名													
	稲田孔	稲田輝宏	加藤博徳	寺下武	八束正	藤岡緑	村井慶太郎	早瀬武臣	松本一二美	澤田登代一	岡井馨一郎	伊賀上明治	三好勝利	木下淳
請願第 5号 安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める請願書	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●
請願第 6号 MV-22オスプレイの配備撤回と低空飛行訓練の中止を求める意見書採択についての請願	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●
請願第 7号 安全・安心社会を実現するため公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める請願書	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●
請願第 8号 脱原発と再生可能エネルギーへの転換を求める請願書	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●
議員提出議案 第 3号 松前町議会委員会条例の一部を改正する条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
議員提出議案 第 4号 松前町議会会議規則の一部を改正する規則	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
議案第 47号 平成23年度松前町歳入歳出決算認定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
議案第 48号 平成23年度松前町水道事業会計決算認定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
議案第 58号 専決処分の承認を求めることについて	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
議案第 59号 松前町保育所条例の一部を改正する条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
議案第 60号 平成24年度松前町一般会計補正予算(第4号)について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
議案第 61号 平成24年度松前町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
議案第 62号 平成24年度松前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
議案第 63号 松前総合文化センター並びに松前町ふるさとライブラリーの指定管理者の指定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
議案第 64号 松前公園の指定管理者の指定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
議案第 65号 松前町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○

請願

⑤ 安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求め
る請願書

◎請願者

愛媛県医療労働組合連
合会

執行委員長 越智明美

自治労連愛媛県本部医
療評議会

会長 平岡 章司

紹介議員 稲田 孔

(厚生常任委員会付託)

◎論点 看護師の現状とし

て全国で4万人不足して

いるが在宅約50万人の再

雇用支援や新卒1万人の

看護師を合わせると人手

不足といえず、環境改善

が先決などの反対意見が

あった。

全会一致で不採択

⑥ MV・22オスプレイ
の配備撤回と低空飛行
訓練の中止を求める意
見書採択についての請
願

◎請願者

愛媛地方労働組合連合会

議長 田福 千秋

紹介議員 稲田 孔

(総務常任委員会付託)

◎論点 日米安保条約のも

と日本の安全保障を維持

するための配備でもあり

緊急事態の備えでもある

ので、請願に対し一部賛

成できない部分があると

いう意見などが出た。

全会一致で不採択

⑦ 安全・安心社会を实

現するため公務・公共

サービスの体制・機能

の充実を求める請願書

◎請願者

愛媛県国家公務員労働

組合協働会

議長 海田 俊行

紹介議員 稲田 孔

(総務常任委員会付託)

◎論点 請願の出された時

期が10月であったが、そ

の後の国政選挙で国の政

治体制が大きく変わる可
能性が出てきたため、今
後の審議の動向を見て判
断すべきとの意見などが
出た。

全会一致で不採択

⑧ 脱原発と再生可能エ

ネルギーへの転換を求

める請願書

◎請願者

国民の食糧と健康を守

る運動愛媛連合会

会長 村田 武

紹介議員 稲田 孔

(総務常任委員会付託)

◎論点 再生可能エネルギー

について特に自然エネル

ギーは設備投資に膨大な

費用がかかり、風力は低

周波の問題がある。原子

力については、使用済み

核燃料の処理や処分方法

に目途がついていない中

で即廃炉は難しい。電気

料金の値上がりへの懸念

などエネルギー政策全体

で議論が必要、ある程度

の時間をかけて行くべき

などの意見が出た。

全会一致で不採択

議員提出議案

③ 松前町議会委員会条
例の一部を改正する条
例

地方自治法の一部を改
正する法律の施行に伴い
改正するもの。

・主な改正点

特別委員会委員の任期

と議員の常任委員会の所

属について、地方自治法

で定めていた規定を条例

で定めるように変更になっ

た。

④ 松前町議会議規則
の一部を改正する規則

地方自治法の一部を改
正する法律の施行に伴い
改正するもの。

・主な改正点

地方自治法の改正に伴

い、引用している条項番

号が変更となった。

⑤ 松前町保育所条例の
一部を改正する条例

(厚生常任委員会付託)

平成25年3月31日をも
つて若葉保育所を(北川
原)を廃止するため別表

に表示されている若葉保
育所の記載を削除する。

一部改正。

・審議内容

保育所閉園に伴い園児

の今後の行先、職員配

慮などの質疑に対し希望

に沿えるよう調整してい
くとの回答。

全会一致で可決

条例一部改正

⑤ 松前町職員給与に
関する条例の一部を改
正する条例

55歳を超える職員の昇
給について、その者の勤
務成績が特に良好である
場合に限り行う。

昇給させる場合の昇給

の号級数は勤務成績に応

じて規則で定める基準に

従い決定する一部改正。

全会一致で可決

⑥ 松前総合文化センター
並びに松前町ふるさと
ライブラリーの指定
管理者の指定につい
て

以下のように決定

指定管理者

株式会社ケイミックス

⑦ 松前公園の指定管理
者の指定について

以下のように決定

指定管理者

イヨテツケーターサー
ビス株式会社

指定期間はいずれも

平成25年4月1日～

平成28年3月31日

全会一致で可決

その他の事項

⑧ 専決処分の承認を求
めることについて
(平成24年度松前町一
般会計補正予算(第3
号))

11月の衆議院解散に伴

う12月16日の国政選挙の

委託金が、県支出金とし

て1,412万5千円支

払われた。

会期前の専決事項とし

て上程され、可決承認。

⑨ 松前町職員給与に
関する条例の一部を改
正する条例

55歳を超える職員の昇
給について、その者の勤
務成績が特に良好である
場合に限り行う。

昇給させる場合の昇給

の号級数は勤務成績に応

じて規則で定める基準に

従い決定する一部改正。

全会一致で可決

あれこれ 町政を問う

Q. 自然エネルギー利用は

A. 庁舎に太陽光発電設備と蓄電池が整備できる予定



村井 慶太郎 議員

問 全国的にも脱原発を目指し、メガソーラーや風力発電を積極的に取り組んでいる自治体も多いが、今後、本町での自然エネルギー利用に対する考えを伺う。

答

町長

現在耐震工事中の岡田小学校の校舎、北伊予中学校の校舎にも、同規模の太陽光の発電設備をすることになっている。

また、役場の庁舎は、国の再生可能エネルギー等導入推進基金を活用した補助事業を申請している。これが採択されれば、来年度に20の太陽光発電設備と蓄電池が整備できる予定だ。

また、メガソーラーを、設置するには広い面積が必要となり、町独自で取り組むことは非常に難しいと考えている。

問 老朽保育所の今後の計画は

老朽保育所について、5年前にも同じ質問をしている。松前保育所と宗意原保育所の統合の計画があると記憶している。用地確保と統合、または新設の計画はあるのか。今後の計画を伺う。

答 統合を前提に建替えを検討

保険福祉部長

松前保育所と宗意原保育所の統合、新設の計画については、町立保育所の効率的な運営を図るため、民営化も視野に入れた、統合を前提に建替えを検討している。

現在は、建設場所について松前保育所の場所も含め、保育施設の環境や利便性、また他の保育所との位置なども考慮しながら検討している。

問 北黒田海岸整備事業立退き交渉の経過は

造成工事費の補正が上がっているが、立退き交渉の経過は現在どのようになっているのか。

答 移転を表明しているのは1社

防災担当副町長

現在移転を表明しているのは1社のみ。海岸整備工事は、管理者である県が行っている。

将来予測される巨大地震の津波対策として早期に完成するよう強く要望している。

その他の質問

問 防災に対する具体策

答 順次財政状況を考慮しながら計画的に実施。

問 地域密着型サービス事業者の決定方法の公開を

答 委員会を構成する委員の皆さんの独自性に任せる。

問 義農顕彰館について

答 年明けには具体的な計画に向けて意見を聞く。

丸い屋根でも太陽光発電(庁舎)備えます





八束 正 議員

Q. 農業対策の拡充を A. 積極的に推進していく

問 ① 国の農業施策「人・農地プラン」の推進と、町単独での支援対策は。
② 地産地消への取り組みや、松前町のブランド化に向けた取り組みは。

答 産業課長

① 農業委員会定例会や広報まさきで周知するとともに、県との共同開催による「人・農地プランをつくるうきゃらバン」で集会所に向いた説明会を5地区で開催し、プランの推進に努めた。

東古泉では、青年就農給付金に該当する新規就農者があり、プランの原案を作成中。計画をしている地区もあり、今後も積極的に推進していく。町単独支援として、町内小・中学校の給食で使用している町内産の米に、松前育ちと一般米の差額に対して支援をしている。



新鮮なレタス栽培もその一つ

また、農業に対する事業や協議会の活動にも支援をしている。

② 商工会が中心となり、毎月ふれあい広場で朝市を開催。まさき村を初め、岡田、北伊予の生協やエミフルなどで、地元食材コーナーがある。また、給食センターでも町内農家の野菜を積極的に取り入れている。ブランド化については、減農薬で栽培したヒノヒカリを松前育ちとしてブランド化し、

各生協で販売している。松前町産業連携推進協議会を設立した。今後も地産地消や地域ブランドの創出、イベントの開催など、町内地場産業の振興に努める。

問 JR貨物基地計画

① 現在、北伊予地区においてJR貨物基地整備が行われているが、地域住民への対応は。

② 通過する列車の本数の増加で踏切が開かずの踏切の懸念、集団登校の通学路の確保、貨物列車洗車での地下水の低下、JRアクセスの周辺整備など、町の対策は。

答 地元と協議しながら実施している

産業建設部長

① 鶴吉、神崎、出作の3地区には、事業に関する対策などの委員会がある。地元要望などの推進については、県、町と委員会で協議しながら事業を実施している。今のところ関係事業に特に問題は無い。

② 現在100本程度の通過列車が160本程度に増えるが、増えた列車は最終列車通過後の回送列車のため、昼間の踏切や子どもたちの通学には、ほとんど影響はない。また、通学路の確保に向け北伊予踏切周辺に工事を計画している。自由通路についても、北伊予駅のホームを飛び越える形で東西をつなぐよう、現在、JR側と協議している。JRアクセス道路については、県道八倉松

前線と伊予川内線を結ぶ整備、踏切周辺の道路整備及び基地の外周道路整備を行っている。町の方では、国、県の補助を受け周辺の水路整備を行っている。水利用については、現在のところは詳細な計画が出ていない。



これからの北伊予線駅周辺の整備は？

Q. 増える空き地、空き家の問題解決は

A. 空き家の取り壊し補助制度で住環境の改善へ



藤岡 緑 議員

問

① 少子高齢化、人口減少などで全国的に増加する空き地、空き家、廃屋問題に対する町の解決策は。

② 活用できる家屋の情報バンクの創設で利用したい側のニーズとマッチングさせることができれば、さらに有効活用ができると思うが、町の考えは。

答

まちづくり課長

① 町内の空き家は、その大半が住宅密集地にあり、長年放置され狭い道路に立ち並び隣接する住宅に被害を及ぼしかねない。

この被害を防止するため平成17年度から空き家を取り壊す人に対し補助制度を設け、その跡地を町が管理する制度を実施している。結果として今年度末までに17件の空き家が取り壊される予定だ。

町としては住民の不安を解消して防災力の



老朽化した空き家

向上と住環境の改善を図るため、今後この事業を推進する。

② 情報バンクを利用した空き家の活用については、今のところ考えていない。

理由は、このような住宅のほとんどが老朽化して、建築法の新耐震化基準をクリアしておらず安全に活用できないから。

問

コンパクトシティの利点を生かした施策を

松前町は、平野だけの20kmに3万人が住む、買物など日常生活に大変便利なコンパクトシティだ。ただ便利が故に、観光面での施策に乏しい。庁舎入り口などに観光掲示板の設置や、観光ルートへの提案また魅力ある仕掛けを住民や専門家など交えてアイデアを出し、町の利点を生かした観光施策につなげてほしい。町の考えは。

答 観光スポットの紹介は広報で行い、今すぐの観光掲示板の設置は考えていない

産業課長

町内の多くの人が集まる場所に観光パンフレットを置きホームページや広報誌にも掲載して観光スポットをアピールしている。文化財や親水公園などわかりやすく説明しているの、今すぐ観光用の電光掲示板などの設置は考えていない。

観光ルートについては観光資源の整備が先決。



ひよこたん池公園



福德泉公園



有明公園



8月に愛媛県から県内全市町にサイクリングコースの提案依頼があり町としてはコース名を「泉めぐり」として提案。松前公園から思い通り、塩屋海岸、ひよこたん池公園、福德泉公園、有明公園をめぐって出発地点に戻るというコースを考えている。これが県の策定コースとして位置づけられるよう努力したい。

今後も観光振興や地域活性化につなげていく取り組みをしていきたい。



松本 一二美 議員

Q. ごみ袋収入で 建設基金設立を

A. 今のところ設立の考えはない



問 伊予地区ごみ処理施設の老朽化は、町単独で処理施設を構える事態になるのではと、心配する声がある。今後の対応も含め伺う。

- ① 耐用年数は。
- ② 将来にわたる共有施設の使用契約は。
- ③ 建設計画はあるのか
- ④ ごみ袋有料化から6年になる。環境改善への貢献度は不透明だ。ごみ袋収入を建設基金設立にする考えは。
- ⑤ 被災地のごみ受入れは。

答 副町長

- ① 昭和52年使用開始。明確には解らない。
- ② 伊予市と共同。当該施設が使用できる間。
- ③ 組合議会で検討、審議される。
- ④ 平成23年度の指定ごみ袋の販売金額は、3,620万円で、経費を差し引くと2,540万円の収益。伊予地区ごみ処理施設管理組合負担金と可燃ごみ収集運搬に約2億円支出し、ごみ袋の販売収益以上

の経費がかかっている。ごみ袋収入は今後のごみの減量化やリサイクル推進施策などに有効に活用する。

問 受領委任払いの導入を

障がい者や介護サービス利用者の負担軽減を図るため、福祉用具購入費及び住宅改修費の補助制度がある。

支払いを償還払いだけでなく、受領委任払いを選択できるようにしてほしいとの要望がある。より解りやすい手続きと時間短縮が必要。当町の取り組みの現状は。

⑤ 最終処分場も焼却炉の余力もないので、受入れできない。

建設基金設立の考えはない。

答 制度の拡充について検討する

保健福祉部長

住宅改修に関しては受領委任払い制度を導入しているが、福祉用具購入費については少額の申請が多いことから、受領委任払いは行っていない。

今後福祉用具の購入を含め、制度の拡充について検討する。

問 コミュニティソーシャルワーカー配置事業の実施を

既存の制度では救済されない人々が増えている。福祉制度の狭間にある方に支援の手が届く安心のまちづくりが必要。福祉なんでも相談窓口を開設し、コミュニティソーシャルワーカー配置事業の実施を提案するが、見解は。

答 配置の考えはない

副町長

福祉に関する相談にはいろいろな相談事業を実施し、必要時は関係機関や担当部署につないでいる。

今のところコミュニティソーシャルワーカーを配置する考えはない。

その他の質問

問 民間資金を活用したリース方式による街路灯のLED照明導入を

答 電気代を上回る費用となるため、導入の考えはない。

問 レアメタル回収の取り組みを

答 今年度から県の支援で実施する。

研修報告

産業建設常任委員会

11月20日～11月21日

●研修目的

△太陽光発電事業視察

●研修地

△岡山県笠岡市

△兵庫県淡路市

●研修内容

●笠岡市

幅18m、長さ2,100mの細長い市道の残地を利用して、能力185万kw一般家庭消費電力約



笠岡市



淡路市

「おかやま新エネルギービジョン」に係る補助金を活用しての干拓地での発電事業として評価されている。

500世帯分に相当する「メガソーラー」を設置していた。全量を中国電力に売電し、業者より4,000万円の寄付を受け、更に法人住民税などの税収面の改善も見込めるようになった。

このメガソーラーは「おかやま新エネルギービジョン」に係る補助金を活用しての干拓地での発電事業として評価されている。

淡路市

事業費4億6,000万円

かけ年間約110万kwを発電させる「あわじメガソーラー1」で、隣接する庁舎・防災センター・浄化センターの稼働に利用している。

年間約1,200万円の節電と残電力の売電約800万円があり売電葉積立に回している。

今後は災害時にも役立つ蓄電を考えているとの事。

●今後の課題

再生可能エネルギーの導入拡大は、エネルギー源の多様化、地球温暖化対策、環境関連産業育成の観点からも、一日も早く取り組みたい課題だ。

本町においても、導入拡大が進む環境を整備する事が大切だと考える。具体的施策へ繋がることを期待したい。

平成24年度一般会計補正予算概要

■予算総額

(単位:千円、%)

区分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	9,283,147	377,591	9,660,738	4.1
前年度	10,186,721	△142,838	10,043,883	△1.4
前年度対比	91.1	364.3	96.2	

■松前町一般会計補正予算(第4号)主要事業

(単位:千円)

科目	項目	金額
総務費	防災事業(防災携帯無線機ほか)	1,593
民生費	心身障がい者福祉事業	34,248
	重度心身障がい者医療助成事業	6,804
衛生費	予防接種事業	13,134
商工費	地場産業推進事業	5,473
土木費	町道整備・維持事業(町道西186号線・東147号線ほか)	37,846
	北黒田海岸整備事業	65,046
教育費	学校耐震補強及び大規模改修事業(松小・北中・古城幼)	230,298
	給食センター調理設備整備事業	1,500

町民の声

「人生は一度だけ」

徳丸 中野 良雄

徳丸に生まれ大学まで卒業し、就職して福岡、兵庫に住み平成元年に帰郷し現在に至っている。

徳丸は松前町の東のはずれ砥部町と伊予市北を重信川に挟まれた農業振興地域です。川北の松山市には高層マンション、飲食店などがあり都会ですが、徳丸は、まるで北朝鮮のように家と田んぼ

しか見当たりません。

農業は盛んで小麦の出荷。野菜は京ネギ、そら豆、レタス、スイートコーンなどが採れ、出荷協議会もあります。

最近、近くに産直市が

でき私も出荷しております。隣近所の方々と朝早くから取り入れ出荷しております。しかし、単独で出来る作業、出荷には限界があります。NPOを設立するか、農園という看板で商品をPRするか、現在、検討中であります。

隣に松山市という大消費地を控えているのです

がまとまりが無く、それぞれの農家が昔ながら作るだけ、出荷するのは市場または農協という感じ

後、自民党政治がどう変わり農業政策もTPPを考慮して世界に通用する製品を出荷できるよう望んでおります。

当年61歳、一度だけの人生失敗をおそれず、チャレンジしていこうと日々頑張っています。



町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。

(500字程度)

【宛先】

松前町筒井631
議会広報編集特別委員会
「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail : 500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴席

傍聴席にて思うこと

北黒田 大西 武夫

現在、松前町から借りているランドゴルフ場が今回の土地造成工事の該当地となり、どうなるのか気になるところなので、仲間と議会を傍聴しました。

私の第一印象としては

議会進行の流れがうまくいっているように感じました。

議会としての施策の監視チェックとしては、おむねよくやってもらっているように私は感じます。今後においても、これを続けて行くことを希望するところです。

ただ、議会とは住民の代表ですので、その声を吸い上げて地域住民の付

託に答え住民の心を忘れてず大所高所に立ってほしいと思います。

傍聴者が少ない日もありましたが、大切な議会ですので、より多くの人が傍聴をした方が良いと思います。

パソコンから傍聴

議会のライブ中継

松前維新

本会議をライブ中継でパソコンから傍聴できるようになり、時間があれば傍聴している。リアルタイムで議会の様子が分かり、大変よいことだと思うが、平日の昼間のためゆっくりと傍聴できない。ぜひ、録画中

継も実施していただきたい。

また、議会の夜間や土日曜日開催も検討してみたい。傍聴者も増え、町民の議会への関心も高まると思うし、議員、理事者の意識も高まるのではない



傍聴の「案内」

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

多くのみなさんの傍聴を庁舎5階でお待ちしております。

(次回は3月上旬の予定です)

松前の公共施設紹介 《第4回》
 こんなところですよ！ こんなこともしています！

松前公園体育館内施設

松前公園体育館事務所
 松前町筒井638番地
 TEL/FAX089-985-4130

どんなところ？

身障者対応の遊具を備えた子供広場のほか、多目的広場、テニスコート、体育館などの施設があります。

- 1F 管理事務所
- 卓球場
- トレーニングルーム
- ロッカールーム
- シャワールーム
- 2F アリーナ
- バレーコート3面
- (バスケット2面、バドミントン6面、卓球(大会専用) 10台)
- 3F 固定席350席
- 周囲200mのジョギングコース



★館内施設で卓球を楽しむ皆さんの声を紹介

皆さんの卓球歴は？
 5〜14年から20年以上とベテランさんが多い。年齢も平均70前後で80歳を超える元気な方もいますよ。

施設の使い心地は？

昔の町民会館のころから使っていたので、施設ができてすぐに使い始めました。テーブル間の距離が少し短いかな。駐車場も広いし週3回は来ます。

利用上での希望は？

レベルに合わせた指導者の斡旋はお願いできないうかが。

4月より指定管理会社の運営となります。

★指定管理になると
 4月1日より町民の皆さんが生涯にわたってスポーツ活動に親しみ、活力ある地域づくりと子どもたちの健全育成が図られるよう、民間活力を導入します。今まで以上にスポーツ施設の整備充実と参加機会の拡充に努めます。
 詳しい利用方法などは、体育館事務所までお問い合わせ下さい。

現在の主な利用料				
施設名	区分	単位	町内利用者	町外利用者
アリーナ	全面	1時間	1,800円	2,160円
トレーニング室	1人	1回	200円	240円
卓球台	1台	1時間	200円(一般) 100円(中学生以下)	240円(一般) 120円(中学生以下)



編集後記

本年は巳年、巳とは従来の因習的生活に終わを告げる意味があります。政権交代をし、新しい日本をどう導いていくか期待をしたいところです。

議会広報も新しい挑戦をしながら一歩、一歩着実に前進する1年にしていきます。町民の皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

(八東 正)

- 議会広報編集特別委員会
- 委員長 藤岡 緑
 - 副委員長 松本一二美
 - 委員 村井慶太郎
 - 委員 八束 正
 - 委員 加藤 博徳
 - 委員 稲田 輝宏
 - 委員 稲田 孔



この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。

